

(講座) 感染分子病態学 (研究室) 感染分子薬学
(氏名) 渡辺 健 (職名) 助教

【研究テーマ】

1. インフルエンザウイルスマトリックス蛋白質結合宿主因子 Hsc70 の機能解析
2. 質量分析計を用いたウイルス蛋白質解析に関する研究
3. 海洋微生物ライブラリーからの抗ウイルス剤候補のスクリーニング

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Rafidinarivo H, Fujimoto S, Watanabe K, Kitazato K, Kobayashi N. Topographic Effects of Coastal Seas on the Composition of the Culturable Bacterial Communities in Marine Sediments. *Hydrobiologia* 2007; 583: 205-212 (IF=0.978)
2. Adachi K, Ichinose T, Takizawa N, Watanabe K, Kitazato K, Kobayashi N. Inhibition of betanodavirus infection by inhibitors of endosomal acidification. *Archives of Virology*. 2007;152(12):2217-24. (IF=1.85)

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 北里海雄、布施隆行、大原直也、渡辺健、小林信之: MIP-T3 と微小管の結合機構の解析 平成 19 年度日本生化学会九州支部例会 2007 年 5 月 宮崎 【口頭発表】
2. 渡辺健、塚原富士子、丸義朗、永田恭介、北里海雄、小林信之: ヒートショック蛋白質 Hsc70 によるインフルエンザウイルス増殖の制御 平成 19 年度日本生化学会九州支部例会 2007 年 5 月 宮崎 【口頭発表】
3. 渡辺健、北里海雄、小林信之: ヒートショック蛋白質 Hsc70 はインフルエンザウイルス増殖に關与するのか? 第 4 回ウイルス学キャンプ in 湯河原 2007 年 6 月 熱海 【口頭発表】
4. 野田彩衣子、渡辺健、塚原富士子、丸義朗、北里海雄、小林信之: インフルエンザウイルスマトリックス蛋白質(M1)結合宿主因子、Hsc70 とウイルス蛋白質の挙動 第 44 回日本ウイルス学会九州支部会 2007 年 10 月 長崎【口頭発表】
5. 渡辺健、滝沢直己、塚原富士子、丸義朗、北里海雄、小林信之: Hsc70 がインフルエンザウイルス RNP の核外輸送に關与する 第 44 回日本ウイルス学会九州支部会 2007 年 10 月 長崎【口頭発表】
6. 廣瀬和之、渡辺健、北里海雄、小林信之: 微生物群集構造解析による諫早湾環境経時的変動の評価 第 44 回日本ウイルス学会九州支部会 2007 年 10 月 長崎【口頭発表】
7. 足立圭、一ノ瀬亨、滝沢直己、渡辺健、北里海雄、小林信之: 培養細胞におけるベータノダウイルス宿主域の検討 第 44 回日本ウイルス学会九州支部会 2007 年 10 月 長崎【口頭発表】

8. 一ノ瀬亨, 足立圭, 滝沢直己, 渡辺健, 北里海雄, 小林信之: ベータノダウイルス細胞内侵入機構の in vitro における解析 第 44 回日本ウイルス学会九州支部会 2007 年 10 月 長崎【口頭発表】
9. 渡辺健, 滝沢直己, 北里海雄, 小林信之: インフルエンザウイルス RNP の核外輸送にヒートショック蛋白質 Hsc70 が関与する 第 55 回日本ウイルス学会学術集会 2007 年 10 月 札幌【口頭発表】
10. 足立圭, 一ノ瀬亨, 滝沢直己, 渡辺健, 北里海雄, 小林信之: エンドサイトーシス阻害剤によるベータノダウイルス細胞内侵入機構解析 第 55 回日本ウイルス学会学術集会 2007 年 10 月 札幌【口頭発表】

【特許】

1. 特願 2007 - 238139 渡辺健, 小林信之 核外輸送阻害剤のスクリーニング方法

【研究費取得状況】

1. 平成 19 年度 科学研究費若手(B) 研究代表者 インフルエンザウイルス増殖に関与する宿主因子 Hsc70 の機能解析
2. 平成 19 年度長崎大学高度化推進経費(学長裁量経費) 萌芽 研究代表者 インフルエンザウイルス遺伝子の核外輸送を作用点とする新規抗ウイルス薬の海洋微生物ライブラリーからの探索

【過去の研究業績総計】

原著論文(欧文)	14 編		
総説(欧文)	1 編		
著書(欧文)	1 編	(邦文)	2 編
特許	2 件		